

Inter Tsukuba

つくば市近郊の外国人と日本人により結成された社会人チーム。外国人が主体的に運営に参加。国籍、人種、宗教、言語、文化の違いを超えて、サッカーを通じて多様性を高めあい、尊重し合う関係性を築いています。

取り組み内容

本チーム Inter Tsukuba は、2022 年につくば市近郊に居住する外国人および日本人により結成された社会人サッカーチームです。活動開始当初は筑波学園都市サッカーリーグに所属し、つくば市内でのリーグ戦を通じてチーム力の向上を図ってきました。2023 年には茨城県社会人サッカーリーグに準加盟し、公式戦に参入しました。2025 年には 3 部から 2 部への昇格を果たし、競技成績においても順調な発展を遂げています。構成メンバーは約 30 カ国の外国籍選手と日本人で構成されており、外国人が主体的にチームの運営を担いながら、日本人が言語面や各種手続きにおいて支援を行う体制をとっています。サブを含め外国籍選手のみで公式戦に出場した経験もあり、日本国内で前例を見ない唯一無二の多国籍チームであると自負しています。活動の場はつくば市内から茨城県内全域に広がっており、リーグ戦や練習試合などを通じて、茨城県内外の他チームと積極的に関係を構築しています。サッカーを媒介とし、在住外国人と地域社会をつなぐプラットフォームとして、今後も活動の場を広げていきたいと考えています。

本チームは、多様な価値観や背景を持つ人々がサッカーを通じてつながり、互いを認め合いながら活動を行っています。メンバーは、国籍、人種、宗教、言語、文化の違いを超えて、一つのチームとして協力し合い活動しています。こうした環境において、選手たちは互いを一人の仲間として尊重し合い、差別や偏見のない関係を築いています。また、対戦相手となる日本人チームとも、フェアプレーを通じて信頼関係を構築し、対等な立場で交流を重ねています。競技の枠を超えたこうした関係づくりは、地域における多文化共生の一端を担うものです。さらに、本チームの外国籍選手は、慣れない日本語環境の中で自ら審判資格を取得し、実際にリーグの公式戦で審判としても活動しています。これは、単なる競技者にとどまらず、ルールを理解し、運営側の一員としてリーグに貢献しようとする姿勢の表れであり、サッカーに対する深い敬意と責任感に基づく行動です。以上のように、本チームの取り組みは、サッカーという共通の活動を通じて、多様性を認め合い、尊重し合う関係性を築くものであり、まさにリスペクトの理念を体現しています。

